

金沢一日マギーの日は、出会いの場、語らいの場です。
こころとからだがほぐれるおもてなしメニューをいっぱい準備させていただきました。
どなたでもお気軽においで下さい。

はじめての

金沢一日マギーの日

2011年9月4日(日) 10:30~15:30

石川国際交流サロン

金沢市広坂1-8-14 TEL:076-223-8696

♥お話し会 「思いをかたちに -マギーの願い-」 後藤孝子さん

♥こころほぐしからだほぐし

- ・からだほぐし教室.....町屋塾：宇都宮千佳さん
- ・アロマ体験.....アロマセラピスト：岡田秀子さん
- ・こころほぐしコンサート.....ゲスト：高瀬"makoring"麻里子さん
- ・いのちの絵本ライブラリー
- ・おうちにカエルを作ろう！
- ・メッセージキルト 'ちくちく'

♥ココチカフェ

- ・アロマティ、いのちのスープ（玄米スープ）・天然酵母パン等
- ・岡田圭写真展 「慈しむ心」NYの在宅ホスピスから
- ・マギーセンター写真展

♥がん哲学外来（樋野興夫先生）

♥よろず相談（医師・看護師・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー等）



Art

金沢1日マギーの日について

「マギーズは、あなたが大事だということを知ってほしいと思っている。
あなたはがん患者ではなくひとりの価値ある個人である」

マギー・ケズウィック・ジェンクスさんは、1988年に乳がんの告知を受け、1995年に多臓器がんでこの世を去りました。マギーさんは、最善の医療と介護も受けて過ごされていましたが、でも何か精神的な面でギャップがあると感じていました。「病人ではなく一人の人間に戻れる、死の恐怖の中にあっても生きる喜びを感じられる、小さな家庭的な安息所がほしい」「治療法や補完療法についての適切な情報、信頼できる案内人がほしい」

彼女が亡くなった後、このプロジェクトは動き出します。造園設計家だったマギーさんは建築家の夫と、普通の家に近いような雰囲気を持ち、明るい開放

的な色彩に囲まれた、暖かいもてなしの空間がある建物を作りました。人の五感がのびのびと解放されていくような工夫がたくさんあります。彼女が亡くなってから彼女の遺産が基金となり、このセンターの運営が始まりました。予約なしで、無料で、患者・家族に限らず、医療者も病状のどの段階でも自分の気持ちを遠慮なく訴え、継続的に相談を受けられ、治療や生活の選択に必要な十分な情報を得られ温かく受け止められます。患者同士の対話の場があり、経験豊かな看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーがいて、アロマテラピーやリラクゼーションや、必要なら医師の治療も受けることができます。通院患者が気軽に立ち寄れるように、病院の敷地内や隣接していることが多く、かつ病院の職員に気兼ねしなくてすむように、独立した建物となっています。

2010年2月にマギーズセンターの最高経営者のローラさんたちを金沢にお迎えしてシンポジウムを開催してから1年半、何か一步を踏み出したいねと、「石川にマギーズを」と願う仲間たちといっしょに準備してきました。

	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30
広間	ココチカフェ・マギーセンター写真展										
和室1	いのちの絵本ライブラリー・おうちにカエルを作ろう										
	アロマ体験（岡田秀子）										
和室2	からだほぐし教室 （宇都宮千佳）			お話し会 （後藤孝子）			こころほぐしコンサート （高瀬"making"麻里子）				
和室3											
フリー スペース	がん哲学外来 樋野興夫先生										
	よろず相談										

